

税に感謝を

伊那市立伊那中学校3年 巢山 瑞喜

皆さんは、税金が無駄なく使われているのか考えたことはありますか？2022年度の決算検査報告では、税金の不適切な支出や無駄遣いをしたとされる金額は580億2千万円となったそうです。私はこれを知り、無駄遣いは抑えてほしいと感じたと共に、皆さんに「税金の無駄遣いはやめよう」と訴えます。

私はアトピー性皮膚炎の治療で母と通院しています。通院したての頃は、「足りなくなったら大変だ」と思い、肌に塗る軟膏をお医者さんが指定してくれた量より多く指定し、もらっていました。通院し始めて驚いたのは母が病院でも薬局でも一度もお金を払っていなかったことです。その頃の私は、「病院ってそういうものなんだ」と思っていました。

ですが、その考えが変わる時が来ました。小学5年生の頃軟膏が変わり、私はいつも通りお医者さんが言った量より多く頼みます。すると、お医者さんは「うーん、大丈夫ですがこれ1g150円くらいするんですよ」と苦笑いしていました。私は、「いつも無料でもらっているのに、なんでお金の話が出てくるんだろう？」と疑問を抱えたまま、その日も多めにもらった軟膏を持って家に帰りました。

その日私は、ずっと「そういうもの」だと思っていた病院での医療費がなぜ無料なのかについて調べてみることに。

まず知ったのは、私の住む伊那市では窓口で健康保険証と共に福祉医療受給者証を提示することにより18歳未満の医療費が無償になること、そのお金は税金で賄われているということです。

さらに税金は様々な種類があることも知りました。特にたくさんの方が一生懸命働いたお金の一部が所得税として支払われていることに1番衝撃を受けました。

私はこれらの事実を知り、申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。なぜなら、たくさんの方が働いて納めてくれた税金を、「足りなくなったら大変だ」という気持ちだけで無駄遣いしてしまったと思ったからです。それから私は、必要最低限の薬をもらうようにしています。

税金は人々の生活を豊かにしてくれる、なくてはならないものだと思います。ですが、まだ税金というものにあまり馴染みがない子供である我々も、それを当たり前享受するのではなく、たくさんの人へ感謝をしながら無駄遣いしないのが大切だと私は訴えます。